

教科書採択公開資料

令和5年9月

旭東地区

令和5年度旭東地区教科用図書採択協議会委員名簿

和気町（〒709-0511 和気町矢田305） TEL0869-88-1115 FAX0869-88-1506	
氏名	職名
徳永昭伸	教 育 長
坪井悠子	教 育 委 員
吉備中央町（〒716-1241 吉備中央町吉川4860-6） TEL0866-56-9191 FAX0866-56-9393	
氏名	職名
石井孝典	教 育 長
禰元幸治	教 育 委 員
赤磐市（〒709-0816 赤磐市下市337） TEL086 - 955-0972 FAX086-955-6060	
氏名	職名
坪井秀樹	教 育 長
遠藤益恵	教 育 委 員
瀬戸内市（〒701-4302 瀬戸内市牛窓町牛窓4911） TEL0869-34-5640 FAX0869-34-4790	
氏名	職名
東南信行	教 育 長
山本正	教 育 委 員
備前市（〒705-8602 備前市東片上126） TEL0869-64-1840 FAX0869-64-4285	
氏名	職名
高取睦	教 育 長 職 務 代 理 者
出井鉄二	教 育 委 員

学識経験者等委員

氏名	市町名
石原玲子	和 気 町
藤原清志	赤 磐 市
小林憲治	瀬 戸 内 市
奥田泰彦	備 前 市

令和6年度使用小学校教科用図書採択案一覧表

令和5年7月24現在

教科	種目	発行者 番号	発行者 の略称	採択理由（総評より）	前回 採択
国語	国語	38	光村	<ul style="list-style-type: none"> ・個別最適な学びの実現につながるよう、どの領域でも学習の進め方のはじめに「問いをもとう」が設けられている。 ・身につけた言葉の力を活用できるようにするために「たいせつ」「いかそう」が設定されている。 ・課題意識や目的意識をもつことができるように「言葉のじゅんぴ運動」「詩を楽しもう」などの言語活動が設定されている。 	光村
国語	書写	38	光村	<ul style="list-style-type: none"> ・シンプルなマークやキャラクターを用い、児童が楽しみながら文字に親しみ、文字の整え方の原理・原則を発見しやすい活動を取り入れている。 ・巻頭に「1 考えよう」「2 確かめよう」「3 生かそう」として、学習の進め方を設け、「何を学ぶのか。」「何ができるようになったか。」が分かりやすく構成されている。 ・全教材に学習のポイント「たいせつ」を設定し、スモールステップで積み重ねて、基礎・基本が無理なく身に付くように紙面を構成している。 ・児童が書写学習に親しみをもち、文字を書く意欲を喚起できるように、提示している語句や文章は、日常生活や他教科の学習内容から幅広く取り上げている。 	光村
社会	社会	17	教出	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元において、課題解決学習になるように構成されている。全学年の教科書の巻頭に学習の循環的な進め方や社会的な見方・考え方が詳しく示されている。「学びのてびき」では、資料の読み取り方や資料を使った考え方、表現の仕方が示されている。動画やウェブサイト、クイズなど様々な学習に役立つリンクがある。単元によっては「つなげる」のページにおいて、学習したことを自分の生活につなげたり、家庭での自主的な学習を促したりしている。 	教出

社会	地図	46	帝国	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の実現を目指す視点を養う工夫がされている。また、自然災害を知り、主体的に防災意識を高められるようにという観点での掲載もあり、学んだことを実生活に生かせるよう工夫されている。 ・第3学年から第6学年までの学習内容に配慮した地図が掲載されている。また、地図の情報量は精選され、土地利用の違いや高低差が識別しやすい色分けの工夫により、すべての子どもが使いやすく親しみやすい地図帳になっている。 ・全編にわたって、主体的な学びを促すための問いが掲載されている。また、学習を深められる二次元コードから利用できるコンテンツが豊富であり、資料活用能力を高め、主体的な学びを伸ばす地図帳になっている。 	帝国
算数	算数	61	啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ・児童自らの問いや気づきを「めばえ」として示して「めあて」を引き出すように展開していたり、数学的な見方・考え方を強調してポイントを視覚化したりして、主体的・対話的な学習につながるよう工夫されている。 ・デジタルコンテンツが充実しており、解説動画やヒントなどが用意されていて、つまずきを解消したり、自学をサポートしたり、プログラミングにチャレンジしたりできるように工夫されている。 ・外国にルーツをもつ児童や車いすの児童がキャラクターとして登場したり、SDGs達成に向けてできることを考えるコーナーを設置したりして、現代に課題に向き合える工夫がなされている。 	啓林館
理科	理科	2	東書	<ul style="list-style-type: none"> ・どの単元においても「レッツトライ！」で学び方の手順を示し、主体的に学習に取り組めるような工夫がされている。 ・単元の導入では、見開き写真でインパクトを与えるとともに、日常の生活体験から課題を見出し、主体的に探究活動ができるような工夫がされている。 ・各単元の終末には、「ふりかえろう」や「たしかめよう」を設け、観察・実験の技能の習得、基礎・基本の確実な定着が図られるように工夫されている。 	東書
生活	生活	2	東書	<ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学び」につながる活動ができるよう、「わかったことをつたえ合おう」「つたえたいことをまとめよう」等、あらゆる単元で「伝える」活動が重視されている。 ・「しらべてみよう」「見つけたことから考えよう」等、活動のヒントとなる内容が必要に応じて掲載されている。 	光村

音楽	音楽	27	教芸	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽科の確かな学力を育むと共に、主体的で対話的な学習を進めるために、単元ごとにめあてとまとめが明記されており、「考える」「見つける」「歌う」などのマークで、学習内容を可視化できるように編集されている。生涯にわたって、豊かに音楽に親しむ態度を養うために、低学年から郷土の音楽やいろいろな国の音楽に触れられる教材が配列されている。主体的な学びを活性化する二次元コードが各ページに設定されており、学びをより確かなものにできる手立てがあり、児童や指導者にとって使いやすい工夫がされている。 	教芸
図画 工作	図画 工作	116	日文	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材で、学習のめあてが3観点で、具体的な児童の姿で示されているので、教師と児童が目指す姿や、育成を図りたい資質・能力を共有して学習を進めることができるように工夫されている。学習の流れが見やすくなるように工夫されている。 ・表現と鑑賞が密接につながり合うとともに、児童の興味や関心をひく教材が取り入れられている。また、関連する内容を前後に配置することで、学んだことを、次の学習に生かすことができるように構成されている。 ・表現活動だけでなく「図画工作をもっと楽しむためのページ」で「教科書美術館」「図工のみかた」「広がる図工」「アート・カードを楽しもう」等を配置することで、実生活と図画工作が関わり合っていることが学年に応じて理解できるように構成されている。 	日文
家庭	家庭	9	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・調理・製作の手順など、学習の流れが写真・イラスト・吹き出しを用いて見開き2ページで示されており、児童や指導者にとって使いやすく工夫されている。 ・見通しをもって学習に取り組めるように、学習の進め方が3つのステップで示されている。題材の導入では活動の意義を問い、児童が課題意識をもとに学習を進めることができるように工夫されている。 ・具体的な例示や想起しやすいイラストが豊富で、児童が家庭・地域で取り組む時にも学んだことをもとに課題を見つけ、その解決に向けて実践することができるように、手順・実践例が複数掲載されている。 ・児童の生活に基づいたストーリー性のある展開で、児童の思いが反映されており、身近な課題としてとらえることができるように工夫されている。 	開隆堂

体育	保健	224	学研	<ul style="list-style-type: none"> ・各時間の始まりに、学習の進め方が示されており、児童が見通しをもちやすくなるよう工夫されている。 ・児童の学習を効果的に支援するデジタルコンテンツが掲載されている。 ・単元末の振り返りでは、学習内容の振り返りと自身の学び方の振り返りを行うことができるようになっている。 ・フォントや文字の大きさが読みやすいものになっており、資料のレイアウトが工夫されている。 ・単元の最後には「明日につなぐ」のコーナーが設けられ、実生活に生かしていけるよう工夫されている。 	学研
外国語	英語	38	光村	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を生かしてまとめができるように、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの活動が繰り返し設定されており、ステップごとの目標も設定されていることで、見通しをもって、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ・目的や場面、状況の設定が、実生活に即しており、学習者が興味や意欲をもって取り組むことができるよう工夫されている。 	光村
道徳	道徳	208	光文	<ul style="list-style-type: none"> ・答えが一つではない課題を考え、自分の考えを広げたり深めたりできるように、紙面構成が工夫されている。 ・問いをもって主体的に考えることができる学習展開や発問の工夫がされている。 ・「みんなでつくる『わたしたちの未来』」として、SDGsに関する特設ページが設けられている。 	日文

図画工作

【質疑】

議 長：選定委員・研究委員から報告がありましたが、委員の方から質問がございましたらお願いいたします。

採択委員：今日までに期待されていたこととして、学びのプロセスを読むだけで子供たちが理解したり、子どもたちにつけたい力を身につけさせたりするようなことが大事だと思います。先ほどの説明の中で、日本文教出版の内容の特徴表現では、ページの下段に、授業の流れに沿って、必要な知識や手順がまとめられている、それが特徴の1つだったというお話がありました。これは、日本文教出版の特徴としてよく分かりました。聞き逃したかもしれませんが、開隆堂については、この学習のプロセスの明示やそういった必要な知識や手順がまとめられているような記述や表現があったのでしょうか。

選定委員：はい、開隆堂の方にも下段にございます。両社ともに、授業の流れに沿って、必要な知識や手順がまとめられていると思います。私たちの研究グループでは、子どもの立場から、より分かりやすいかを考えた時、効果的に写真や吹き出しを使用して学習支援できることや発想を広げるヒントになる言葉がどのページにもたくさん掲載されていることから、日本文教出版の方が知識や手順が明確に明示されていると感じました。

議 長：他に質問はありませんか。お忙しいなか、ご報告ありがとうございました。また、長時間にわたり、調査研究及び資料作成等、熱心に行ってください、大変ありがとうございました。それではご退席ください。

（選定委員・研究委員退席）

【協議】

議 長：それでは、先程の調査研究の報告をもとにして、図画工作について、旭東地区の採択案を決定していきたいと思います。委員の方々に、先程の報告や選定資料をもとにしてご意見の方をお願いできればと思います。

採択委員：退職して5年目で、今、使われている教科書、令和6年度使用する教科書、あまり馴染みがないのですが、最近、図工の授業をさせてもらうことがありまして、指導書を見せてもらいました。今は、日本文教出版を使っていますが、そんなに来年度以降のものと形式的に変わっているようには思わないです。見せてもらって、授業作りをする時に、選定委員の方が言われたように、子どもにも、指導者にも観点が分かりやすいです。また、参考作品がたくさん載っているのも、子どもが学習する時も参考にしやすいですし、教師も授業作りがしやすかったという記憶はあります。

採択委員：実は、去年、図工の教科書を使わせていただきました。長く教壇に立っていなかったのですが、久しぶりに3・4年生の図工で日本文教出版の教科書を使いました。開隆堂の教科書を使った経験もあるのですが、日本文教出版も開隆堂も、本当に、甲乙のつけがたい、子どもの学びのストーリーが分かりやすい教科書になっていると思います。た

だ、日本文教出版は、私も教材研究をしていて、非常に子どもにとっても分かりやすい内容ですし、実際に教科書を使う教員にとっても、流れが分かりやすいことにもなっているのではないかと思います。

採択委員：先程、■■■■採択委員が言われたのですが、表現と鑑賞というのは、切り離せないものです。表現活動や創作活動をしながら、その途中途中で、どうやって鑑賞活動を取り入れながら、子どもにイメージを広げさせるかが指導していく上で大切ですが、日本文教出版の教科書には、「作った後に見ましょう」ではなくて、「途中途中でいろいろな表現を入れていこう」という姿勢がより強く見えました。また、「アート・カード」を使って、ちょっとの時間にゲームをしながら鑑賞活動を取り入れていくのも、「こんなゲームもできるんだ」「カードをこういう風に活用できるんだ」というようなことも示されていたので、その点でも充実していると思いました。

採択委員：備前焼という言葉が出てきて注目したのですが、これは地域性を考えると、一つの代表として、備前焼を通して学んでいけるということは身近なことでもあるので、大変素晴らしいと思いました。

採択委員：もう現役を去って何年かになるのですが、現役でしている時に、よく子どもたちに言っていたことが、教室で学んだことを、そこだけで終わらせることはもったいないと。知識と知恵の問題ですよね。知識をそれ以外で使えてこそ知恵ですよね。そういう視点で見た時に、日本文教出版の方が、実生活にとの関連につながるように上手に取り上げているのが、とても非常に印象深く感じました。

議長：ありがとうございます。他にございませんか。では、皆様のご意見を集約したところ、116番、日本文教出版の教科書を小学校図画工作の旭東地区採択協議会で採択した教科書としてよろしいでしょうか。

採択委員一同：はい。（異論なし）

音楽

【質疑】

議長：選定委員・研究委員から報告がありましたが、委員の方から質問がございましたらお願いいたします。

採択委員：コロナの3年間があって、その中でどんな授業をしていくのか、先生も四苦八苦していたと思います。例えば、笛は吹いたつもりで、音を出したつもりで、合唱はマスクをするなどの取り組みをしていたように思います。今回、コロナが明けたとは言えないけど、5類に引き下げられて、元の音楽の本来の楽しさ、友達と音を合わせる楽しさであるとか、合唱の中でみんなと声を合わせる楽しさ、そういったところが、かなり落ち込んだ3年があるのではないかと思うのですが、何かそういうところを取り戻すための工夫であるとか、際立った手当てなどが見られるようなところがありましたら教えてください。

選定委員：教育芸術社、教育出版の双方に工夫があったと思います。まず、QRコードがたくさんありました。その中でも、教育芸術社は、決まった場所にほぼ全ページにQRコードがあり、それを見ながら、リコーダーや鍵盤の技術が習得できるといったようなレイアウトになっていました。また、それを見ながら家庭でも、自主的に学習に取り組めるよ

うな仕組になっていたと思います。歌唱において、教育芸術社については、先ほどの説明でもありましたが、「歌声ルーム」というコーナーがありました。低学年から順番に「こんなふうに声を出したらいいよ」と、発声をするための技術的なアドバイスもあるのですが、その他にも、声変わりの時期は「こういうものだから、自分の声を楽しんで、友達の声も楽しみながら歌いましょう」といったような、子どもたちが安心して声を出せるような記述もありました。「歌声ルーム」の記載などは、良い工夫だと考えています。

採択委員：お尋ねしたいことは、教育芸術社の観点の③で、「6年間『音楽の木』を育てたいという意欲を喚起するように」とありましたが、6年間というのは、それぞれ単学年で育てるということではなくて、小学校教育全体を通して6年間育てていくという一つの流れですか。それと同じように教育出版にもありましたか。

選定委員：教育芸術社で、見開き（教科書を指しながら）のところに、木の芽があります。このような学習を1年生で行っていきますということを、子どもたちにもわかりやすく示してあります。6年生になりましたら、このように木が大きく育っていきます。観点は同じようなものですが、表現が難しくない、レベルアップしたものが示されています。また、1年生から6年生までこのように（教科書を指しながら）変わってくるのですが、「6年生になったらこのようなことができるようになるね」ということを各学年で確かめながら、音楽の学習に取り組んでいけるような工夫がありました。同じように、教育出版にもありました。学年の系統性が分かるように、シンプルに示してありました。どの学年で、何を学習するのかを、見開きで分かりやく掲載されていたと思います。

採択委員：作り自体は、似ているんですね。

選定委員：はい、似ています。子どもたちの意欲の視点から考えた時に、視覚的により分かりやすいのは教育芸術社と考えました。

採択委員：私も音楽は勉強不足かもしれませんが、教芸の観点の②で、「曲想」という言葉を教科書で扱っているのですか。

選定委員：はい、ありました。研究委員の先生の中に音楽に堪能な先生もいらっしゃって、「曲想」という言葉を使っているのは、今までになかったことかなと言っておられました。

採択委員：教育出版の方は、「曲想」という言葉自体は、使っていなかったのですか。

選定委員：はい、それはなかったです。

採択委員：「曲想」とその音楽の構造等の関わりというと、大人でも説明しにくいし、なかなか理解しにくいところかなと思いました。楽器の技術をマスターするのとは違うかなと。その言葉を使って、特に、高学年では、「曲想」と音楽の構造との関わりについて理解できるような手助けがあるというのが、違いなのかなと思いました。でも、教育出版の方の言葉は使っていないけど、「曲想」とその音楽の構造等の関わりについて理解させるということですね。

選定委員：はい、小学校のうちから、そういった言葉に親しませて、理解させつつ学習を進めていくかどうかだと思います。

採択委員：教育芸術社について、主体的な学びを活性化する二次元コードが各ページに設定されているということですが、主体的にということとは、それぞれがやりたいと思った時にいつもやれるということだと思うのですが、その具体について教えてください。

選定委員：リコーダーの指使いで、モデルがあります。実際に、リコーダーの指使いを画面で見ると、音も出ます。音も出して、例えば「ミ」の音だったら、この音なんだなと、自分が

出した音と確認できます。

採択委員：それが、画面に出てくるのですか。

選定委員：はい、出てきます。

研究委員：このQRコードを読むと、数秒間という短い時間ではありますが、運指と音がきちんと出てくるので、自分がきちんと指を押さえられて、正しい音が出ているかどうかを、確認しながら吹くことができます。

採択委員：それはタブレット上に出てくるのですか。

研究委員：はい、(実際にQRコードを読み込んで音を出す)

選定委員：「このように押さえるよ」など、たくさんのページにQRコードがあります。

議 長：他に質問はありませんか。お忙しいなか、ご報告ありがとうございました。また、長時間にわたり、調査研究及び資料作成等、熱心に行ってください、大変ありがとうございました。それではご退席ください。

(選定委員・研究委員退席)

【協議】

議 長：それでは、先程の調査研究の報告をもとにして、音楽について、旭東地区の採択案を決定していきたいと思います。委員の方々に、先程の報告や選定資料をもとにしてご意見の方をお願いできればと思います。

採択委員：教育芸術社の総評の最後に、「児童や指導者にとって使いやすい工夫がされている」と書かれています。指導者だけではなくて、児童にとって使いやすい。やはり、これが私は一番大切だと思います。内容については、両社とも素晴らしい教科書で、大きな差もないかと思いますが、そういった使いやすさについても、検討された結果、教育芸術社の方がよりよいということではよいのではないかと思います。

採択委員：教育出版の方にはあまり書かれていないけれども、教芸の方は、観点の①の意見として、「歌声ルーム」という言葉を使っています。「歌声に自信がもてるように、声に関する知識としての歌声を」、これは、私たちが現役の時にはこういうものはなかったような気がします。子どもは、自分の声に対するちょっとしたコンプレックスがあるとか、高学年の男子だったら、声変わりで声がなかなか出ないとか、歌うのに抵抗がある子とか、歌いたがらない子とか、人前で歌うのにすごい恥ずかしさをもっている子も結構いたり、それから、歌うこと自体に拒否感をもっていて、声がなかなか出せなかったりするような子も、今もかなりいると思うので、ひと昔前にはなかった、そういう歌声に対する支援や歌うことに対する支援というのが入ってきたのだなという感想をもちました。

議 長：ありがとうございます。他にございませんか。では、皆様のご意見を集約したところ、27番、教育芸術社の教科書を小学校音楽の旭東地区採択協議会で採択した教科書としてよろしいでしょうか。

採択委員一同：はい。(異論なし)

社会科地図

【質 疑】

議 長：選定委員・研究委員から報告がありました。委員の方から質問がございましたらお願いいたします。

採択委員：どちらの教科書にも、写真・イラスト・2次元コードが掲載されているということですが、地図帳こそタブレット端末の活用が有効であると思います。そのなかで、動画のことが出てこなかったような気がするのですが、動画についてはどうだったのでしょうか。

選定委員：(教科書を示しながら) 東京書籍のQRコードでつながるトップページが、こちらの方です。そこから自分が探したい情報が、どこにあるのかを探して開いていくようになります。一方、帝国書院の方は、様々な分野にとぶようになっていますので、動画も見ることができます。ですから、授業のなかで、どちらの教科書も動画を見ることはできませんが、児童が調べ学習や自主学習等で、興味があることをもう少し調べたいなどと、より主体的に取り組めるように工夫されているのが、帝国書院だと感じました。

採択委員：地図を勉強するにあたっての基本というか、地図をどういう風に見ていくか、地図の見方の決まりであるとか、使い方であるとか、工夫はそれぞれ違うかもしれませんが、どちらの会社にも記載されていると思います。主体的に地図を活用するという面、活用のしやすさの面で言うと、例えば、中国地方をパッと開いた時、地図自体の見やすさについて、地図の中に記号や地名など情報量が多くあったら見にくいし、児童も途中で見るのをやめてしまうかもしれない。縮尺で、大きい小さいで見やすさ、見にくさが出てくるとは思いますが、見やすさの観点で、両社の違いや特徴がありますか。

選定委員：(資料を提示しながら) 今、おっしゃられた中国地方を開いてみたのですが、私が持っているのが東京書籍です。研究委員が持っているのが帝国書院です。一見して、すっきりしているのが帝国書院の方かなと思われま。東京書籍では、水田や農耕地は、低い位置ところに別色を重ねてあり、高さを7段階に分けてあるのが特徴でした。帝国書院は、高低差の色分けが4段階なので、3年生、4年生がパッと見た時に、どちらが高いなどを把握しやすく、文字の数もかなり精選されているので、地図の教科書を使う時に、必要な情報が掲載されているのが特徴だと思います。

採択委員：他教科への汎用性、3年生、4年生にとって使いやすい地図帳という観点から言うと、今のご説明からすると、帝国書院の方がより使いやすいという理解でよろしいでしょうか。

選定委員：はい、その通りでございます。

採択委員：もう一つ、よろしいでしょうか。研究されているとは思いますが、帝国書院の観点の③について、P105～P108「日本の発電や食品ロスの現状などのグラフや地図が掲載されている」と書いてあるのですが、「日本の発電」とは具体的にどんなことが書かれていますか。

選定委員：はい、日本の発電というのは、水力発電、火力発電、原子力発電の3種類あります。そして、発電出力、規模の大きさは円の大きさによって、種類の違いは色によって示されています。これによって日本には、全国に発電の施設が必要であり、エネルギーが必要な国であることが分かります。また、私たちの生活も非常にエネルギーを必要としているということから、全国に発電所があることが分かります。原子力発電については、

災害についてのページに福島が発電所が取り扱われており、再稼働をどうするかという今日的な課題についても触れられております。

議 長：他に質問はありませんか。お忙しいなか、ご報告ありがとうございました。また、長時間にわたり、調査研究及び資料作成等、熱心に行ってください、大変ありがとうございました。それではご退席ください。
(選定委員・研究委員退席)

【協議】

議 長：それでは、先程の調査研究の報告をもとにして、社会科地図について、旭東地区の採択案を決定していきたいと思っております。委員の方々に、先程の報告や選定資料をもとにしてご意見の方をお願いできればと思います。

採択委員：3年生から活用するというところで、入門期に地図への興味付けをしやすいということと、先程も質問したのですが、地図自体の見やすさ、児童が活用する時に、主体的に地図を活用する時に、地図自体の見やすさにおいて、帝国書院の方が、情報が精選されており、より見やすく、取り組みやすくなっているのではないかと思います。

採択委員：先程の説明にもありましたように、写真と動画の使いやすさ、最初のQRコードを読み込んでから、そこから、見たいところを探していくというような東京書籍の説明に対し、帝国書院は、自分の興味があるところから、すぐ興味のある所へ直接とぶことができるということなので、写真、動画、使いやすさにおいて、児童が1番使いやすいのが良いと思います。また、今の子供たちが、まさに考えてほしい日本の現状、食品ロスや日本の発電、防災についても詳しく書かれています、児童が、3年生から興味をもって、そして、自主的に考えることができる資料として、帝国書院を推していらっしゃいましたが、私もその意見に賛同いたします。

採択委員：先ほどの採択委員と同じ意見ですが、世界的な気候の変動、災害の問題、エネルギー問題、今日的な学習課題というところに、しっかり視点が当てられるなという感想を受けましたので、帝国書院が良いと思いました。

議 長：ありがとうございます。他にございますか。では、皆様のご意見を集約したところ、46番、帝国書院の教科書を小学校社会科地図の旭東地区採択協議会で採択した教科書としてよろしいでしょうか。

採択委員一同：はい。(異論なし)

生活

【質疑】

議 長：以上のような報告がありましたが、質問がございましたらお願いいたします。

採択委員：たくさんの生活の教科書があるなかで、特に、東京書籍の教科書を薦められる理由は何ですか。

選定委員：先程、説明したところではありますが、様々な活動のなかで、「伝える」というところ

を重視した教科書でありました。主体的・対应的で深い学びを進めるためには、この伝えるという活動が非常に大切でございます。「いろんな場面で話をどうつなごうか」、「どうやったら気持ちが伝わるか」など、様々な工夫が見られました。

採択委員：私は、5番目の観点に注目してみました。生活というのは、国際理解教育を進めていくときに、とても良い教科だと思います。この観点の部分を全部見ていくと、どこも外国にルーツがある児童の写真があるとか、親子について、食べ物について、深く言及しているところがたくさんあったような気がします。先生方がこれを見られた時に、国際理解教育という観点から生活の教科書を使って指導していこうとする時に、それぞれの教科書に特徴はありましたか。

選定委員：はい、観点の⑤については、どの教科書も意識をして工夫されている印象でした。ほとんどの教科書で、写真とイラストの両方あるところがたくさんありました。一部では、写真がない教科書もありました。なので、児童にとって分かりやすいのは、写真とイラストの両方あった方が良いと思いました。

議長：他に質問はありませんか。お忙しいなか、ご報告ありがとうございました。また、長時間にわたり、調査研究及び資料作成等、熱心に行ってください、大変ありがとうございました。それではご退席ください。

(選定委員・研究委員退席)

【協議】

議長：それでは、先程の調査研究の報告をもとにして、生活について、旭東地区の採択案を決定していきたいと思います。委員の方々に、先程の報告や選定資料をもとにしてご意見の方をお願いできればと思います。

採択委員：総合的に見た時に、この生活というのは、先々の社会や理科など、本当に生きていくうえでの問題解決的な学習だと思います。だから、そういう力をつけていく土台になる教科だと思います。その点から見ると、先程も触れたように、東京書籍は、12ページの総評にある通り、主体的・対話的な学びにつながる活動になるように、工夫されていることがよく分かりました。何よりも重要なことだと思います。

採択委員：生活の教科の特徴として、1年生・2年生の学習になるわけですけど、勉強する時に、児童がどういう願いをもっているかということが出発点になって、願いをどういう風に変現していくか、これが単元を構成していく上で、大切なものだと思います。その願いを實現していくために、どういう活動を仕組んでいくか、子どもが活動を通して何に気づいていくかという点が大切だと感じています。今、6社とも色々と説明がありましたが、どの会社も活動を重視されています。そのなかで、東京書籍が、特に、活動のなかでも、「伝える活動」、「自分はこんなことが分かった」、「こんな風にして願いが實現できた」、それを誰かに伝えることが、一番重視されているように感じました。私も納得しており、そういった伝える活動をこれから、子どもたちが学習していくうえで、問題解決学習に繋がる、非常に有効な活動ではないかと思います。

議長：ありがとうございます。他にございませんか。では、皆様のご意見を集約したところ、2番、東京書籍の教科書を小学校生活の旭東地区採択協議会で採択した教科書としてよろしいでしょうか。

採択委員一同：はい。（異論なし）

算数

【質疑】

議 長：はい、ありがとうございました。以上のような報告がありましたが、質問がございましたらお願いいたします。

採択委員：啓林館について教えてください。第4学年では「塵劫記」、第5学年では「鹿苑寺金閣」、第6学年では「博多祇園山笠」「大仙古墳」等を題材として取り上げていますが、どのように数学的に扱っているのか教えてください。

選定委員：児童へ興味付けをするために、各学年で紹介されていたと思います。

採択委員：現在、児童一人一人にタブレットPCが配布されていて、様々な工夫をしながら授業を行っていると思います。特に、算数は有効活用できる教科だと思います。ドリルとかではなく、主体的な学びに有効利用できる視点から、啓林館はいかがでしたか。

選定委員：はい、QRコードを読み込んで、第6学年のある場面を開いています。（読み込んで再生している）教科書の問題から解説まで全部見ることができます。これは、子どもたちだけではなくて、経験年数の少ない先生も、この解説資料を見ておけば、授業の流れやポイントを把握することがきますし、子どもたちも家で復習する時の支援にもなると思います。

議 長：他に質問はありませんか。お忙しいなか、ご報告ありがとうございました。また、長時間にわたり、調査研究及び資料作成等、熱心に行ってください、大変ありがとうございました。それではご退席ください。

（選定委員・研究委員退席）

【協議】

議 長：それでは、先程の調査研究の報告をもとにして、算数について、旭東地区の採択案を決定していきたいと思います。委員の方々に、先程の報告や選定資料をもとにして御意見の方をお願いできたらと思います。

採択委員：私も現場で啓林館の教科書を使用することがありますが、現場の教員が、図や写真を使いながら説明していくと、非常にやりやすさを感じたこともありますし、今回もそのような感じがいたしました。また、授業でめあてをつくっていく時にも、啓林館の教科書は、特に、すっと入っていきやすいです。

採択委員：数学的な見方や考え方など、算数の肝である部分を上手に押さえておられる印象がありました。算数を教えていく流し方としては、大変、分かりやすい配列にはなっているかなと思っています。総合的に啓林館がよりふさわしいと思います。

議 長：ありがとうございます。他にございますか。では、皆様のご意見を集約したところ、61番、啓林館の教科書を小学校算数の旭東地区採択協議会で採択した教科書としてよろしいでしょうか。

採択委員一同：はい。（異論なし）

理科

【質 疑】

議 長：はい、ありがとうございました。以上のような報告がありました。質問がございましたらお願いいたします。

採択委員：先生方、色々丁寧に見ていただいてありがとうございます。現在も東京書籍の教科書を使っているということで、その上での質問になりますが、今回の教科書展示会では、一般の市民の方も見られていて、疑問に感じていることがあるそうです。啓林館や学校図書などは、原子力について触れているのに、東京書籍は触れていないということでした。私も確認したら、6年生の136ページ見てみると、火力・水力・太陽光・風力の4つは大きな図で示していますが、原子力についてはありませんでした。社会科の地図帳にも原発の位置について、はっきり明記しています。先生方が教科書を研究される時に、その点についてはどのようにお考えだったのか教えてください。

選定委員：はい、東京書籍では、火力・水力・太陽光・風力については触れており、原子力については触れていませんでした。私たちのグループでも、その点について大変議論にはなりました。子どもたちにとって、分かりやすく工夫されていることや見通しをもって学習ができるように、QRコードや動画などの支援ツールがあることなど、内容のみならず、レイアウトやコンテンツの充実など、総合的に判断しました。

採択委員：総合的に判断したということですね。分かりました。

採択委員：現在は、ICTの活用は、学習の中で大事になっていくと思います。一人一台端末を使えば、主体的な活動につながり、協働学習を通して伝える活動ができたり、パワーポイントにまとめたりなど、幅広く学習ができるようになると思われました。例えば、班の中で、学んだことをまとめていくためのソフトが東京書籍にはありましたか。

選定委員：オリジナルソフトはないかと思えます。しかし、子どもたちが学習したことを、まとめられるような「理科ノート」というものがありまして、実験の手順や方法などを分かりやすくまとめていけるようなワークシートをダウンロードできるようになっています。

採択委員：大日本図書の総評の所に、「文字の大きさ、実験の手順などにインクルーシブ教育の観点からの配慮がなされている」と、他の教科書については書かれていませんでした。大日本図書は、これにかなり力を入れていると思われたのですか。それと東京書籍にもあったのですか。

選定委員：はい、大日本図書の総評にインクルーシブ教育の観点について、書かせていただいておりますが、どの教科書にも、インクルーシブ教育の視点は、ちりばめられております。例えば、文字の大きさであるとか、イラストの工夫など様々でした。その中でも、大日本図書の教科書が工夫されていたと思われました。

議 長：他に質問はありませんか。お忙しいなか、ご報告ありがとうございました。また、長時間にわたり、調査研究及び資料作成等、熱心に行ってください、大変ありがとうございました。それではご退席ください。

(選定委員・研究委員退席)

【協議】

議 長：それでは、先程の調査研究の報告をもとにして、理科について、旭東地区の採択案を決定していきたいと思えます。委員の方々に、先程の報告や選定資料をもとにしてご意見の方をお願いできたらと思えます。

採択委員：理科は、とても専門性の高い教科だと認識しておりますが、先程の選定委員、研究委員の説明から、経験の少ない先生であったり、または、理科が専門ではない先生が授業をされたりする際に、使いやすい、授業を構築しやすい、そして、子どもたちが分かりやすい授業になっていくということで、東京書籍が望ましいという意見に賛同します。

採択委員：東京書籍は、総評にも書かれているように、探究活動が主体的にできるような内容になっていることが強みかなと思えます。

議 長：ありがとうございます。他にございませんか。では、皆様のご意見を集約したところ、2番、東京書籍の教科書を小学校理科の旭東地区採択協議会で採択した教科書としてよろしいでしょうか。

採択委員一同：はい。（異論なし）

国語科書写

【質 疑】

議 長：はい、ありがとうございました。以上のような報告がありましたが、質問がございましたらお願いいたします。

採択委員：「総合的に判断して」と言われましたが、特に、光村図書の特徴が出ているところやここが良いなど、秀でたところはありますか。

選定委員：どの教科書も、課題解決学習に取り組みやすいように「学び方」を明確に示し、学習で身に付けた「書く力」を他教科などの日常生活にいかにつなげていくかを考えて構成されていきました。特に、光村図書は、第2・3学年の「なぞとき」、第4学年の「SDGsブック」、第6学年の「書写ブック」など、子どもの立場に立って編集の仕方が特色でした。また、ひらがな表などの手書き文字が、最も秀でてしていると判断しました。

採択委員：東京書籍の総評には、左利き対応や特別支援教育、色覚特性にも配慮されていると言われましたが、詳しく教えてください。そして、他社の配慮はどうでしたか。

選定委員：3社とも、左利き対応や特別支援教育、色覚特性にも配慮されていきました。東京書籍は、特に、第1学年に、左利き対応が児童の各目線の位置（手を置く位置、筆を持つ位置）など、正面や側面から児童の視点に立った、左右両方の写真が掲載されていきました。残り2社は、二次元コードで確かめることができます。

採択委員：光村図書の総評のなかで、「何を学ぶか。」「何ができるようになったか。」が分かりやすく構成されていると言われましたが、具体的にはどのように捉えられていますか？

選定委員：巻頭に「学習の進め方」として、ひと目で分かるように写真付きで掲載され、「たいせつ」のなかで、原理原則を確かめやすく提示してあります。

議 長：他に質問はありませんか。お忙しいなか、ご報告ありがとうございました。また、長時間にわたり、調査研究及び資料作成等、熱心に行ってください、大変ありがとうございました。それではご退席ください。

(選定委員・研究委員退席)

【協議】

議 長：それでは、先程の調査研究の報告をもとにして、国語科書写について、旭東地区の採択案を決定していきたいと思います。委員の方々に、先程の報告や選定資料をもとにしてご意見の方をお願いできたらと思います。

採択委員：光村図書の教科書で強調されていたのが、そこで学んだ書く力や能力を、他教科の学習や日常生活に生かしていけるように、工夫されているということでした。私もその通りだと感じておりますので、その意見に賛同いたします。

採択委員：資料も豊富で、児童が課題解決学習に取り組みやすいように工夫されているということでした。総合的に考えて光村図書が良いと考えます。

議 長：ありがとうございます。他にございませんか。では、皆様のご意見を集約したところ、38番、光村図書の教科書を小学校国語科書写の旭東地区採択協議会で採択した教科書としてよろしいでしょうか。

採択委員一同：はい。(異論なし)

社会科社会

【質 疑】

議 長：はい、ありがとうございました。以上のような報告がありましたが、質問がございましたらお願いいたします。

採択委員：市民の方が、特に、関心が強いのが領土をめぐる問題だと思います。そして、どの教科書にも、領土をめぐる内容の記述がありました。その記述の中で、内容面で大きな違いはありましたか。

研究委員：3社について、詳しく研究しました。学習指導要領の解説にも必要な用語があがっておりますが、どの教科書も同じように用語を扱っていますので、特に、その辺りについては、差がなかったと考えています。

採択委員：社会科の学習で大事なことがあって、社会的な見方、考え方を培うということがあります。例えば、時間で見えていく、変化で見えていく、事実を掴んだ時にその事実同士を比較する、分類する、そういったことが、課題解決学習を進めていくうえで、子どもたちの社会的な見方、考え方を育てるのに非常に大事だと思います。社会的な見方、考え方を培うヒントであるとか、ポイントはどの教科書も明示されていたでしょうか。

研究委員：社会的な見方、考え方というのが、社会科の目標の資質能力の一番始めに書かれています。だから、どの教科書会社も社会的見方、考え方については、その視点などを明示しながら、子どもたちが考えをもてるように工夫されています。

採択委員：教出の観点の⑤、国際理解のところ、日本とつながりが深い国ということで、アメリカ、中国、ブラジル、サウジアラビアが取りあげられていますが、「もっと知りたい」というページで韓国がとりあげられています。「もっと知りたい」というページとはどん

なページですか。他の教科書と違いがありますか。

選定委員：違いがあるとすれば、配当時間、自由に調べられところです。

採択委員：3社の教科書を比べてみると、ページ数について、30ページぐらい差がありました。社会科は、単元によっては、発展的に学習ができるように、選択して学習できるようにしていると思います。選択できるものが3つある会社もあれば1つか2つの会社もあるので、ページ数に違い出てきているのだらうと思いますが、たくさんあれば良いという考えにはならないであらうとはいえ、研究をされるときに、総ページ数の違いについて協議をされましたか。

研究委員：はい、例えば、5年生の教科書になると、日本文教出版は、288ページあり、教育出版が260ページになっています。内容を確認しましたが、日本文教出版の方は選択できるような内容もたくさんは載せてはいるのですが、これを全て授業のなかで扱うというわけにはいかないと思います。量が多いからいいということではなく、内容を見て、その単元でつけるべき力がきちんと位置づけられているかどうかが重要です。教科書のページ数に差はありますが、どの教科書会社も、つけるべき力は、それぞれ工夫して明示していました。

議長：他に質問はありませんか。お忙しいなか、ご報告ありがとうございました。また、長時間にわたり、調査研究及び資料作成等、熱心に行ってください、大変ありがとうございました。それではご退席ください。

(選定委員・研究委員退席)

【協議】

議長：それでは、先程の調査研究の報告をもとにして、社会科社会について、旭東地区の採択案を決定していきたいと思います。委員の方々に、先程の報告や選定資料をもとにしてご意見の方をお願いできたらと思います。

採択委員：どの教科書会社も工夫がされていてよかったと思います。そのなかでも、教育出版が「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」の段階が示されていて、児童が学びやすい教科書になっているという感じがします。みなさん、いかがですか。

採択委員：3社とも、課題解決学習になるように工夫がたくさん見られると思います。私も「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」というのが、児童にとっては分かりやすいことで主体的に取り組めるようになるし、教師にとっても授業を組み立てやすいかと思います。

採択委員：どの教科書会社も2次元コードや写真など、子どもに分かりやすい、興味を抱くような工夫がされていてよかったです。しかし、総合的に見た時に教育出版がよりふさわしいと思いました。

議長：ありがとうございます。他にございませんか。では、皆様のご意見を集約したところ、17番、教育出版の教科書を小学校社会科社会の旭東地区採択協議会で採択した教科書としてよろしいでしょうか。

採択委員一同：はい。(異論なし)

家庭

【質疑】

議長：はい、ありがとうございました。以上のような報告がありました。質問がございましたらお願いいたします。

採択委員：研究委員の先生に、観点の⑤についてお伺いしたいのですが、国際理解教育の視点から教科書にどのような内容の記述があったか、東書について教えてほしいです。選定理由に、開隆堂は国際理解教育に関する記述がされていましたが、東京書籍には記載されていませんでした。よろしくをお願いいたします。

研究委員：東京書籍には、主に、日本の伝統文化に関する内容がとても多くありました。味噌、お茶などの日本食に係ること、日本の住まいに関するものに「日本の伝統マーク」が、多く付けられていました。一方、外国については、外国のお友達のイラストとページの下のあたりに、家庭科に関する内容を英語で記述されていました。その点では、外国の料理や建築物などについては、開隆堂に多く見られたと思います。

採択委員：開隆堂の方に多く、見られたということですね。

研究委員：はい。

採択委員：双方の教科書会社も内容や授業の進め方について、どちらも大変素晴らしいと思います。題材について教えてください。高学年について、東京書籍は15題材、開隆堂は20題材であったと思います。細かく分ければそういう風に分けることができますが、学習内容が15題材、20題材になっているあたりについて、選定委員や研究委員がスモールステップになっている開隆堂を薦められた理由がありますか。

選定委員：開隆堂は、子ども目線であり、その上、スモールステップで、寄り添った内容になるように、工夫されていると感じました。例えば具体で言いますと、開隆堂は、裁縫の学習のフェルト教材について、教科書に載っているものは、実物大になっております。つまり、製作する大きさそのものが、教科書に掲載されているということです。使いやすさ、子どもの理解のしやすさなどから、開隆堂を薦めさせていただきました。

議長：他に質問はありませんか。お忙しいなか、ご報告ありがとうございました。また、長時間にわたり、調査研究及び資料作成等、熱心に行ってください、大変ありがとうございました。それではご退席ください。

(選定委員・研究委員退席)

【協議】

議長：それでは、先程の調査研究の報告をもとにして、家庭について、旭東地区の採択案を決定していきたいと思っております。委員の方々に、先程の報告や選定資料をもとにして御意見の方をお願いできたらと思っております。

採択委員：先程の選定委員・研究委員の先生の説明を聞いて、深く教科書を読み込んで、研究をされていたと感じております。双方の教科書会社も工夫はされておりましたが、開隆堂の方が、児童に寄り添った、児童の目線に立った内容に構成されており、児童が積極的に取り組みやすいように工夫されていると感じましたので、開隆堂の教科書がふさわしいと思います。

採択委員：先程、採択委員の先生からも質問がありましたが、国際理解教育についても、外国の

料理や建築物などについて、多く触れられており、子どもたちの学習を促す支援や仕掛けがあってよいと思います。

議 長：ありがとうございます。他にございませんか。では、皆さんのご意見を集約したところ、9番、開隆堂の教科書を小学校家庭の旭東地区採択協議会で採択した教科書としてよろしいでしょうか。

採択委員一同：はい。（異論なし）

体育科保健

【質 疑】

議 長：はい、ありがとうございました。以上のような報告がありましたが、質問がございましたらお願いいたします。

採択委員：大修館の総評には、「運動領域の学習内容を保健領域で生かせるように体育の窓が示されている」とありますが、保健という科目の特性上、運動というのは非常に大切な要素だと思います。この大修館が出しているような運動ということについて、学研のなかでは、「明日につなぐ」のコーナーが設けられ、実生活に生かしていけるよう工夫されていたとありますが、先程の大修館と同様の内容があったかどうかについて教えてください。

選定委員：はい、運動領域との直接的なつながりについて書かれてあるのが、大修館であったのですが、学研には、実生活との関連はありますが、運動領域とどういう関わりがあるか、直接的に書かれている部分はありませんでした。

採択委員：体を動かすことの大切さについては、書かれていますか。

選定委員：体育で楽しかった運動、外遊びでもやってみたいななど、体育とつなぐというコーナーがあります。そのつなぐというコーナーのなかで、「よりよい発育発達のために」という単元で、体育とつなげて、（教科書を示しながら）こういう運動の例がありますよというのが紹介されています。

採択委員：学習の進め方については、どの教科書にも書かれています。東京書籍の総評には、「単元の学習の仕方について、深める・伝え合う」という記述がありますが、最近では、どの教科書会社も、同じように書かれているようにも思われますが、何か特徴的なものがあったのでしょうか。それと他の教科書会社はいかがだったのでしょうか。

研究委員：はい、東書では、ステップの3のところが、「深める、伝える」ということになっております。この内容を具体的に見ていくと、例えば、「体の成長とわたし 育ちゆく私たちの体」のところで、「これまでの自分の成長を振り返ってみましょう。」「あなたは成長してきた自分にどんな言葉をかけますか。」ということを書き記述するようになっており、それを子どもたち同士で伝え合う授業展開が想定された欄となっております。しかし、東書だけが、特別、伝え合う、深めるということを重視しているかということ、そういうわけではございませんでした。他社も同じように、自分たちが、体が成長してきたこと、心が成長してきたことを振り返る欄がもちろんありましたし、それを伝え合うような学習計画、学習展開ができるように設定されている感じでありましたので、東京書籍が「伝える、深める」ということを重視しているかということ、我々はそう判断しませんでし

た。

採択委員：保健の教科書については、会社がたくさんあり、熱心に研究してくださってありがとうございます。デジタルコンテンツの充実という面でいうと、学研が充実していたということで理解してよろしかったでしょうか。

採択委員：ご質問ありがとうございました。例えば、先程の体の成長のところですが、(教科書を示しながら)このような図が出ているのですが、「あなたの身長がどのように伸びていますか」という成長の過程を入力するようになっています。それを入力すると、この1年間で何センチ伸びた、次の1年間は何センチ伸びたというのが、自動で出てくるようになっています。学研の特色としては、数字だけが示されるのではなくて、そこに人形が出てきて、その人形もだんだん成長していくのです。そういった成長の様子が、視覚的に捉えやすいという部分が、大変、工夫されていると我々は感じました。

議長：他に質問はありませんか。お忙しいなか、ご報告ありがとうございました。また、長時間にわたり、調査研究及び資料作成等、熱心に行ってください、大変ありがとうございました。それではご退席ください。
(選定委員・研究委員退席)

【協議】

議長：それでは、先程の調査研究の報告をもとにして、体育科保健について、旭東地区の採択案を決定していきたいと思います。委員の方々に、先程の報告や選定資料をもとにしてご意見の方をお願いできればと思います。

採択委員：どの教科書会社も様々なところで、工夫がされていたということではありますが、その中でも、特に、学研が今後のタブレット活用等も見据えて、また、デジタルコンテンツも非常に豊富であり良かったということだったと私は理解しています。選定委員・研究委員さんの言うとおり、学研がよりふさわしいと思います。

採択委員：私もデジタルコンテンツというのが充実していることと、教師にとって授業を組み立てやすい、あるいは、子どもが見通しをもちやすいということを考えると、学研がよりふさわしいのかなと思います。

採択委員：よく話題になっているのは、観点の⑤、国際社会の平和や国際理解という辺りですが、これはどの会社もそれぞれ、大事なことを盛り込んで、性別、人種、多様性を考慮するだとか、日本が世界のいろんなところで活躍していることなどを取り上げていますが、特に、学研の方は、まだ現在続いております感染症の歴史とか、そういうタイムリーなものを扱っています。それぞれ教科書会社の良さがありますが、学研の教科書が良いのではないかと思います。

議長：ありがとうございます。他にございませんか。では、皆様のご意見を集約したところ、224番、学研の教科書を小学校体育科保健の旭東地区採択協議会で採択した教科書としてよろしいでしょうか。

採択委員一同：はい。(異論なし)

【質 疑】

議 長：はい、ありがとうございました。以上のような報告がありました。質問がございましたらお願いいたします。

採択委員：光村図書の観点の⑤について、「第5・6学年の説明文で国際理解に関する題材が取り上げられている。」と書かれてありますが、具体的にはどのような感じだったのでしょうか。

研究委員：世界平和に関する題材が取り上げられておりました。その他、世界的な課題としての環境問題やSDGsなどを考えることで、国際理解につながっていくことが取り上げられているという特徴がありました。

採択委員：3社とも、将来の読書活動につながるような題材があるという記述があったとおもいますが、それぞれ違いがあれば教えてください。

研究委員：はい、3社に大きな違いは見られませんが、特徴としては、3社ともに各单元につながる、関連する読書教材が紹介されているということと、年間3回程度、読書につながるように「本は友達」といった本そのものを紹介するものが見開きでありました。

採択委員：最近、外国人労働者のお子さんたちも増えてきている時代ですが、全く日本語が分からない子や少し話せる程度で、意味を理解するのに時間がかかる子どもが、学習するには大変難しい現状があるのかなと思います。そのあたりの対応は、それぞれの教科書にあるものなのですか。

研究委員：やはり、教科書の二次元コードの活用というところが、実生活につながるイメージをもてたり、繰り返し学習に繋がったりするようになっていまして、家庭学習につなげやすいということがあります。さらに、学ぶ意欲を高めたいという子どもたちの思いを実現させていくような流れが教科書全体にあるのかなと感じています。

採択委員：これまでも光村図書を使ってきたところもあると思いますが、今回の改定後も、説明文を学習した後の出口として、例えば、虫について興味をもったものを調べてみようなど、読書につなげるような展開になっているものはあるのでしょうか。

選定委員：はい、この度の改定でも光村図書については、説明文は2つずつの教材を扱うようなパターン、1つ練習をして、2つ目で発展的な学習するという流れ、また読書につなげるようなパターンなど、色々工夫が見られています。

採択委員：紹介をするだけでは、夏休みに読んだらいいよという感じになるのですが、やはり、単元を学習した後に、発展していく方が、読む必要性が出てくるというか、調べるのに本を活用するというような、今でもそのような感じになっているのですね。

選定委員：はい。

議 長：他に質問はありませんか。お忙しいなか、ご報告ありがとうございました。また、長時間にわたり、調査研究及び資料作成等、熱心に行ってください、大変ありがとうございました。それではご退席ください。

(選定委員・研究委員退席)

【協議】

議 長：それでは、先程の調査研究の報告をもとにして、国語科国語について、旭東地区の採択案を決定していきたいと思っております。委員の方々で、先程の報告や選定資料をもとにして御意見の方をお願いできたらと思っております。

採択委員：先程、研究委員の先生に質問をしたのですが、光村図書については、国際理解に関する題材が取り上げられているということです。題材ということは、それに基づいて授業を展開するわけですね。そういうような扱いをしているのは、3社のなかで光村図書だけだったような気がします。やはり、観点の⑤については、今、グローバル時代であるからこそ、求められている内容かと思います。この視点を丁寧に工夫されている光村図書がふさわしいと思います。

採択委員：どの教科書会社も良かったのですが、選定委員の先生がおっしゃったように、系統的な教材が多く配置されていたり、既習事項を活用したりできるなど、見通しをもって主体的に学習ができるように工夫されていることから光村図書がふさわしいと思います。

議長：ありがとうございます。他にございませんか。では、皆様のご意見を集約したところ、38番、光村図書の教科書を小学校国語科国語の旭東地区採択協議会で採択した教科書としてよろしいでしょうか。

採択委員一同：はい。（異論なし）

道徳

【質疑】

議長：はい、ありがとうございました。以上のような報告がありましたが、質問がございましたらお願いいたします。

採択委員：6社の研究だったので、とても大変だったと思いますが、非常に研究をされていて素晴らしかったです。今の説明を聞いて、私も光文書院かなと思いました。私が、光文書院は面白いと感じたのは、総評にもありましたように、「答えが一つではない課題を考えること」というところです。これは、ジレンマ教材を与えて、価値葛藤させるような教材なのですか。

選定委員：はい、必ずしもジレンマ教材になっているとは思いませんでした。しかし、子どもたちが始めから分かり切っていることについて話し合うような流れではなくて、方向性としては一つですが、答えは一つではなく、色々な言い方や見方で子どもたちが発言できるような発問の工夫がされていると思いました。いわゆる、ジレンマのような2つの考えを比べてというものばかりではなかったと感じております。

採択委員：私は、光村図書にも魅力を感じました。どこの教科書でも、観点の⑤、国際理解教育についての中で、大切なことは、理解し、尊重し、共に生きる資質能力を養うということだと思います。その点、光村図書は素晴らしいところに着目して工夫されていることと思います。4つのユニットで色分けをしているということだと思いますが、おそらく共に生きるという色が付いていたのではないかと思います。その理解でよろしかったでしょうか。

研究委員：はい、そう思います。私たちも光村図書については、教材のもつ力は一番強いなと話題になりました。やはり、資料が充実していますし、読み物としても読みごたえがあるのは光村図書だったと思います。しかし、道徳として、子どもたちが考えを深めるところに時間を置きたいと思った場合、教材理解に時間をかけてしまうと後半の部分が難しくなるのではと感じましたので、今回は、光文書院を選んだ結果となりました。

採択委員：私も「答えが一つではない課題を考えること」について、本当に子どもたちが真剣に考えることにつながるので良いと感じております。他の会社は、このような設定はされていなかったのでしょうか。

選定委員：他の会社が全然違うというわけではなかったと思います。取りあげられている資料にしても、向かっている方向にしても大きな差はなかったと思います。子どもたちへの示し方としては、光文書院が一番分かりやすかったし、はじめに問いから始まっていく流れになっておりますので、その問いをもって子どもたちが考えていく、その時に、1つの答えに向かっていくのではなくて、一つの問いに対して、色々な考え方を出せるという流れになっていたように思います。

採択委員：日本文教出版について質問です。道徳の別冊ノートについてです。あれは、学校現場としてはどのように感じていますか。

研究委員：日文文教出版には、別冊ノートが付いております。問いが書いてあって、使いやすい面があります。しかし、流れを変えているとか、ここの話し合いの場面を違うところをしたい、問いを学級の実態に合わせて変えたいという時に、変更しにくい点がありました。

採択委員：学校現場から遠ざかって少し分からないところがあるのですが、「レジリエンスのコラムがある。」これは、全部コラムとしてあるのですか。

選定委員：レジリエンスのページは、コラムとして扱っております。どの会社もコラム的なページは増えてきているのかなと思います。しかし、光文書院のレジリエンスのページにあった「へこたれても立ち直る力」、そういう視点は、他社には見受けられなかったと思います。今の子どもたちに大事な視点だと感じておりまし、私たちも魅かれる部分でありました。

議 長：他に質問はありませんか。お忙しいなか、ご報告ありがとうございました。また、長時間にわたり、調査研究及び資料作成等、熱心に行ってください、大変ありがとうございました。それではご退席ください。

(選定委員・研究委員退席)

【協議】

議 長：それでは、先程の調査研究の報告をもとにして、道徳について、旭東地区の採択案を決定していきたいと思ひます。委員の方々に、先程の報告や選定資料をもとにしてご意見の方をお願いできたらと思ひます。

採択委員：光文書院の展開に関することや子どもたちの考えを導いていくことなど工夫されているものが多かったと思ひます。また、先程、選定委員の方がおっしゃっていたように、今の子どもたちに必要な「へこたれても立ち直る力」を育てられる教材をもっているということで、とても印象に残っています。よって、私も光文書院だと思ひています。

採択委員：先生が授業をしていて、子どもは今日の題材の答えは分かっているだろうなという状態でそのまま授業をしていても、先生も子どもも面白くもないだろうと思ひます。答えは、一つでもないし、どっちの見方から見ても、こういう見方もあり、考え方もありというところが、しっかり意見を出させる時間になると思ひます。色々な視点から角度から見て、こういうのもありかなと思ったり、答えや考え方はそれだけではないと感じたりする教材になっている光文書院がふさわしいと思ひます。

議 長：ありがとうございます。他にございませんか。では、皆様のご意見を集約したところ、208番、光文の教科書を小学校道德の旭東地区採択協議会で採択した教科書としてよろしいでしょうか。

採択委員一同：はい。（異論なし）

外国語科英語

【質 疑】

議 長：はい、ありがとうございました。以上のような報告がありましたが、質問がございましたらお願いいたします。

採択委員：旭東地区では、中学校は三省堂の「NEW CROWN」を使っていらっしゃると思いますが、中学校の三省堂の教科書の下欄に、小学校で習った英単語が記載されています。それを見ると、「この単語は中学校の新出単語ではなく、小学校で習ったものである」と、指導者が想定しながら授業を進めていくと思われれます。その場合、小学校での光村図書の教科書で習った英単語と中学校での三省堂の教科書で習う新出単語の間に、ズレが生じたり、習わなかったりする単語はありますか。

選定委員：はい、小学校の英語の目標にも関わってくるのですが、「聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと」などの言語活動を通して、コミュニケーションの基礎となる資質能力を育成するというのもあります。そうなってくると、先程、採択委員さんが言われたように、教科書会社によって、小学校と中学校で使用する教科書に多少違いが出てくるのかなと思います。それよりもコミュニケーション能力の基礎や資質能力をバランスよく身に着けることができることの方が大切だと思っています。重視したのは、求められているコミュニケーション能力をいかに育成できるかということ、中学校へ進学した時、英語に対して苦手意識をもたずに、大切な力をつけたうえで、中学校英語の学習につなげていくことです。

採択委員：中学校は、開隆堂や三省堂の教科書がよく使用されているような気がするのですが、それでも、小学校では、光村図書を使用するというのをもう一度教えてください。

選定委員：教科書会社は申し上げませんが、(全ての教科書を示しながら)見開きでこのように1時間が進んでいくようになります。調査研究をするうえで、どの教科書会社も工夫がされていたと感じておりますが、先程も申し上げましたが、その中でも、光村図書の教科書では、見開きで学習全体を見渡すことができるページが設けられていたり、めあてが示されていたり、実生活に即した場面や状況設定をすることで、会話の広がりや促す場が設定されていたりなど、児童が主体的に取り組めるような工夫が様々なところで見られました。もちろん、家庭学習へのつながりもスムーズになるようにデジタルコンテンツの工夫もあります。今の子どもの実態を考え、「聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと」などの言語活動を通して、英語に慣れ親しみ、コミュニケーションを図る基礎となる資質能力の育成を図っていくには、光村図書が一番だと思います。

採択委員：現在の小学校の外国語活動や英語は、担任の先生が授業を教えているのですか。中には、英語を教えることに不安な先生もいると聞いたことがあるのですが。

選定委員：今の小学校の外国語活動、英語の授業を取り巻く状況が、中学校と違って、英語の専門的な学習をしている教員ばかりではないということ。中学校の英語の教員が授業をしてい

る、小学校で中学校の英語の免許を持っている先生が授業をしている、英語の免許を持っていない先生や学級担任が授業をするといった様々な状況であります。そのような状況のなかで、専門性というよりも、誰が授業を受けもっても、ある程度のレベルの授業ができる、また、それぞれの先生の特技を生かして授業の工夫をする余地があるという点では、光村図書は扱いやすいのかなと思います。選定委員・研究委員の中で、「これもいいな、あれもいいな、この教科書ではこういう使い方ができる」という意見もあったのですが、最終的には今の小学校の英語教育の状況を踏まえたうえでのバランスを考えると、光村図書の教科書が、今の旭東地区の小学校の実情を考えた時に、授業が進みやすいのではないかと思います。

議 長：他に質問はありませんか。お忙しいなか、ご報告ありがとうございました。また、長時間にわたり、調査研究及び資料作成等、熱心に行ってください、大変ありがとうございました。それではご退席ください。
(選定委員・研究委員退席)

【協議】

議 長：それでは、先程の調査研究の報告をもとにして、外国語科英語について、旭東地区の採択案を決定していきたいと思います。委員の方々に、先程の報告や選定資料をもとにして御意見の方をお願いできればと思います。

採択委員：全ての教科者会社に、子どもたちが主体的に取り組めるような工夫や英語に対して苦手意識をもたず、慣れ親しむ仕掛けなど、様々であったと感じております。子どもたちの状況、旭東地区の先生方の状況を総合的に考えると、光村図書の教科書が良いのかなと思います。

採択委員：小学校で使用する教科書と中学校で使用する教科書が違うことによって、英単語の習得に誤差が出るということについては、学習指導要領の内容をしっかりと押さえたうえで、各市町で小中連携をしっかりと行いながら対応していけばよいかなと思います。私も光村図書で良いと思います。

採択委員：先程、選定委員の先生が、「聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと」などの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質能力をバランスよく育成していくことが大切だと言われていました。書くことやアクセントなど、単語に習熟することだけが小学校英語の目標ではないと思います。英語を恐れずに、怖がらずに話す、少し間違った英語でもいいから人とコミュニケーションを取ったり、外国の方との交流で失敗しても喜んで楽しんだりなど、そのなかで、単語を覚えたら面白かったというような基礎基本の状態が小学校のあるべき姿かなと思います。理由にもありましたが、英語に対して、ほぼほぼ初心者である小学生が見通しをもちやすい、指導者が授業を組みやすいことを考えると、光村図書の教科書が良いのかなと思います。

採択委員：私も教科書を拝見させていただきましたが、光村図書の教科書の方が、より教科書的な見た目でした。前回も光村図書を使用していることも含め、子どもたちが使いやすい、先生方も指導しやすい状況を考えて光村図書で良いのかなと思います。

採択委員：選定委員、研究委員の先生方が、それぞれの教科書会社の良さをしっかりと分析し、研究されていたと思います。英語教育については、時代の流れとともに1年1年どんどんと内容が変わっていきます。実際に前回の採択から変わったことはたくさんあったので

はないでしょうか。次の改定の時においても、色々な情報を得ながら、その時の教育の方向や実情に合わせながら、子どもたちのための教科書が選ばれたら良いなと思っております。

議 長：ありがとうございます。他にございませんか。では、皆さんのご意見を集約したところ、38番、光村図書の教科書を小学校外国語科英語の旭東地区採択協議会で採択した教科書としてよろしいでしょうか。

採択委員一同：はい。（異論なし）